

産婦人科学

1 構成員

	平成18年3月31日現在
教授	1人
助教授	2人
講師（うち病院籍）	2人（2人）
助手（うち病院籍）	5人（2人）
医員	4人
研修医	3人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	5人（0人）
研究生	3人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	5人
合 計	30人

2 教員の異動状況

金山 尚裕（教授）	（H11. 11. 1～現職）
小林 浩（助教授）	（H15. 10. 1～H17. 5退職）
杉村 基（助教授）	（H14. 10. 1～現職）
西口 富三（講師）	（H12. 1. 1～現職）
大井 豪一（講師）	（H16. 11. 1～現職）
小澤 英親（助手）	（H15. 7. 1～現職）
竹内 欽哉（助手）	（H15. 8. 1～現職）
河村 隆一（助手）	（H16. 11. 1～現職）
木村 聡（助手）	（H17. 6. 1～現職）
宮部 勇樹（助手）	（H17. 7. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成17年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	15編（0編）
そのインパクトファクターの合計	45.57
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	2編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	13編（13編）
そのインパクトファクターの合計	0

(4) 著書数 (うち邦文のもの)	4編 (4編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Takata K, Suganuma N, Wada H, Takeuchi K, Kitamura K, Kanayama N: Human chorionic gonadotropin in cervical fluid as a predictor of miscarriage. *Fertil Steril* 84(3): 687-91, 2005.
2. Nishiguchi T, Matsuyama K, Kobayashi T, Kanayama N: Des-gamma-carboxyprothrombin (PIVKA-II) levels in maternal serum throughout gestation. *Semin Thromb Hemost* 31(3): 351-355, 2005.
3. Omatsu K, Kobayashi T, Murakami Y, Suzuki M, Ohashi R, Sugimura M, Kanayama N: Phosphatidylserine/phosphatidylcholine microvesicles can induce preeclampsia-like changes in pregnant mice. *Semin Thromb Hemost* 31(3): 314-320, 2005.
4. Murakami Y, Kobayashi T, Omatsu K, Suzuki M, Ohashi R, Matsuura T, Sugimura M, Kanayama N: Exogenous vascular endothelial growth factor can induce preeclampsia-like symptoms in pregnant mice. *Semin Thromb Hemost* 31(3): 307-313, 2005.
5. Kakogawa J, Sumimoto K, Ho E, Kanayama N: Transabdominal measurement of oxygenation of the placenta by near-infrared spectroscopy. *Semin Thromb Hemost* 31(3): 297-301, 2005.
6. Ohashi R, Sugimura M, Kawamura T, Tamura N, Kanayama N: Sensitivity to activated protein C in patients with deep vein thrombosis during early puerperium period. *Acta Obstet Gynecol Scand* 84(8): 799-801, 2005.
7. Kobayashi H, Yoshida R, Kanada Y, Fukuda Y, Yagyu T, Inagaki K, Kondo T, Kurita N, Suzuki M, Kanayama N, Terao T: Dietary supplementation of soybean kunitz trypsin inhibitor reduces lipopolysaccharide-induced lethality in mouse model. *Shock* 23(5): 441-447, 2005.
8. El-Nefiawy N, Abdel-Hakim K, Kanayama N, Terao T: Dendritic cell differentiation and maturation in embryonic rat liver: immunohistochemistry and electron microscopy with reference to dendritic cell contacts. *Anat Histol Embryol* 34(2): 72-79, 2005.
9. El-Nefiawy N, Abdel-Hakim K, Kanayama N, Terao T: Role of prostaglandin E2 receptor subtypes in ovarian follicle growth in the rat in vivo. Correlation with interleukin-8 and neutrophils. *Histol Histopathol* 20(3): 825-831, 2005.
10. Iwaki T, Castellino FJ: Maternal fibrinogen is necessary for embryonic development. *Curr Drug Targets* 6(5): 535-539, 2005.
11. Iwaki T, Cruz DT, Martin JA, Castellino FJ: A cardioprotective role for the endothelial protein C receptor in lipopolysaccharide-induced endotoxemia in the mouse. *Blood* 105(6): 2364-2371, 2005.
12. Itakura S, Ohno K, Ueki T, Sato K, Kanayama N: Expression of Golf in the rat placenta: possible implication in olfactory receptor transduction. *Placenta* 27: 103-108, 2006.

13. Nishiguchi T, Kobayashi T: Antiphospholipid syndrome; Characteristics and obstetrical management.(review) Current Drug Targets 6(5): 593-605, 2005.

インパクトファクターの小計 [38.92]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Wakahara K, Kobayashi H, Yagyu T, Matsuzaki H, Kondo T, Kurita N, Sekino H, Inagaki K, Suzuki M, Kanayama N, Terao T: Bikunin Suppresses Lipopolysaccharide-Induced Lethality through Down-Regulation of Tumor Necrosis Factor- α and Interleukin-1 β in Macrophages. JID 191: 930-938, 2005.
2. Kobayashi H, Yoshida R, Kanada Y, Fukuda Y, Yagyu T, Inagaki K, Kondo T, Kurita N, Yamada Y, Sado T, Kitanaka T, Suzuki M, Kanayama N, Terao T: A soybean Kunitz trypsin inhibitor reduces tumor necrosis factor- α production in ultraviolet-exposed primary human keratinocytes. Experimental Dermatology 14: 765-774, 2005.

インパクトファクターの小計 [6.65]

(2) 論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 西口富三, 河村隆一, 水主川純, 茂庭将彦, 小林隆夫, 金山尚裕, 牛山知己, 鈴木和雄, 藤田公生: 腎移植後の妊娠分娩に関する検討. 腎と妊娠研究会誌 2005
2. 石川賀子, 西口富三, 川島正久, 水主川純, 金山尚裕, 新保斉, 大塚篤史, 大園誠一郎: 立位経会陰超音波断層法による下部尿路形態のタイプ分類. 日本ウロギネコロジー研究会誌 2(1): 47-49. 2005.

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 杉村 基: 周産期における深部静脈血栓症/肺血栓塞栓症の予防と対策について教えてください. 血栓と循環 13(2)pp.196-199, 2005.
2. 金山尚裕: 早産と尿中トリプシンインヒビター. HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY 12(2)pp.75-81, 2005.
3. 大橋涼太: ホルモン剤内服と肺血栓塞栓症. 日本産婦人科・新生児血液学会誌 14(2)pp.88-94, 2005.
4. 杉村 基: 子宮頸管熟化から見た早産の予防. 産婦人科治療 91(1)pp.50-55, 2005.
5. 金山尚裕: 肺血栓塞栓症の予防と治療. 日本産科婦人科学会誌 57(9)pp.1485-1490, 2005.
6. 西口富三: 産科出血, 血栓症. 血栓症と羊水塞栓. 日本産科婦人科学会誌 57(9)pp.272-274, 2005.
7. 杉村 基: 子宮頸管熟化制御機構からみた早産の予防. 日本産科婦人科学会誌 57(10)pp.1581-1590, 2005.
8. 杉村 基: 胎盤因子によるFGR. 臨床婦人科産科 59(12)pp.1576-1579, 2005.

9. 杉村 基：産婦人科領域での深部静脈血栓塞栓症 医学と生物学 149(11)pp.393-403, 200
10. 金山尚裕：妊娠 知ってて安心！全身疾患ガイド デジタルハイジーン別冊 pp.85-91, 2005.
11. 杉村 基, 木村 聡, 高荷里子, 河村隆一, 金山尚裕, 猪爪裕香, 大井豪一：前期破水後，産科DICおよび羊水塞栓症を疑われ産褥搬送された1症例についての検討 日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報 42(4)pp.485-491, 2005.
12. 杉村 基：妊産婦における深部静脈血栓肺塞栓症 — 血液凝固系に関する諸因子 — 産科と婦人73(3)pp.293-299, 2006.
13. 杉村 基, 金山尚裕：産後は深部静脈血栓症，肺血栓塞栓症のリスクが高い The Mainichi Medical Journal 2(3)pp.216-217, 2006.

インパクトファクターの小計 [0.00]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 金山尚裕：羊水塞栓 今日の治療指針2006 医学書院 pp.929-930, 2006.
2. 金山尚裕：女性の健康・美容と女性ホルモン よりよく生きる — 真の健康長寿とは？ — 浜松医科大学公開講座 静岡新聞社, pp.100-108, 2006.
3. 西口富三：泌尿器系の変化 イラストで学ぶ：妊娠・分娩・産褥の生理 メディカ出版 pp.49-55, 2006.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し，共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 寺尾俊彦, 金山尚裕：イラストで学ぶ妊娠・分娩・産褥の生理 メディカ出版, 2006.

4 特許等の出願状況

	平成17年度
特許取得数（出願中含む）	2件

1. 光感受性化合物

発明者 金山尚裕, 堀内健太郎, 小澤英親, 平野 達, 河野栄治
 出願公開番号2005-008341
 国際出願 PCT/JP2006/300328 国際出願年月日2006年1月14日
 出願国, 指定国すべて

2. 光線力学用キット

発明者 金山尚裕, 堀内健太郎, 小澤英親, 平野 達, 河野栄治
 出願公開番号2006-015530
 出願年月日2006年1月24日

5 医学研究費取得状況

	平成17年度
(1) 文部科学省科学研究費	3件 (320万円)
(2) 厚生科学研究費	3件 (110万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件 (0万円)

(1) 文部科学省科学研究費

杉村 基(代表者) 基盤研究(C) (2) 妊娠中毒症発症における絨毛細胞障害と血液凝固異常の関連に関する研究70万円(継続)

村上裕介(代表者) 若手研究(B) 蛍光標識胎盤蛋白アネキシンVを用いた血小板活性化のリアルタイム解析110万円(新規)

西口富三(代表者) 基盤研究(C) (2) 産褥期深部静脈血栓の発症期機序に関する検討140万円(継続)

(2) 厚生科学研究費

金山尚裕(分担者) 産科領域における医療事故の解析と予防対策に関する研究30万円(継続)
代表者 社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 中林正雄

金山尚裕(分担者) 子ども家庭総合研究事業 地域における分娩施設の適正化に関する研究80万円(継続) 代表者 東北大学医学部 岡村州博

金山尚裕(分担者) 子ども家庭総合研究事業 他施設共同ランダム化比較試験による早産予防の為に妊婦管理ガイドラインの作成0円(継続) 代表者 昭和大学医学部 岡井 崇

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	5件
(3) 学会座長回数	1件	24件
(4) 学会開催回数	0件	1件
(5) 学会役員等回数	0件	23件
(6) 一般演題発表数	2件	

(1) 国際学会等開催・参加

4) 国際学会・会議等での座長

Kanayama N, The XIXth Asia and Oceanic Congress of Obstetrics & Gynecology, October 2005, Korea.

5) 一般発表

口頭発表

1. Kanayama N, Sugimura M: Prevention of preterm delivery from the aspect of cervical maturation, The XIXth Asia and Oceanic Congress of Obstetrics & Gynecology, October 2005, Korea.

ポスター発表

1. Nishiguchi T, Kobayashi T, Kakogawa J, Oi H, Moniwa N, Kanayama N: Vitamin K status in puerperal during early puerperal period, The XIXth Asia and Oceanic Congress of Obstetrics & Gynecology, October 2005, Korea.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

平成17年度日本不妊学会中部支部学術集会 6月

3) シンポジウム発表

1. 大橋涼太：新規血液凝固マーカー（ETP-based APC-sr）を用いた深部静脈血栓・肺塞栓症の管理，第57回日本産科婦人科学会，4月，京都
2. 杉村 基：A New Management of Parturition by Regulating Cervical Maturation. 第57回日本産科婦人科学会，4月，京都
3. 杉村 基：低分子ヒアルロン酸及びプロスタグランジンE2受容体（サブタイプE4）刺激剤による子宮頸管熟化の試み，第29回日本産科婦人科栄養・代謝研究会，7月，秋田
4. 大井豪一：羊水塞栓症における予後因子としてのインターロイキン（IL）8，第24回日本周産期・新生児医学会周産期シンポジウム，1月，埼玉
5. Nishiguchi T: Perinatal problems of complicated pregnancies with medical diseases. 1st International Symposium on Declining Birth rate and Aging Society, December, 2005.

4) 座長をした学会名

金山尚裕 第57回日本産科婦人科学会
杉村 基 第57回日本産科婦人科学会
金山尚裕 第4回女性のための抗加齢医学研究会
杉村 基 第10回生殖医学フォーラム
金山尚裕 平成17年度日本不妊学会中部支部学術集会
金山尚裕 第109回日本産科婦人科学会関東連合地方部会
杉村 基 第23回周産期医療研究会
金山尚裕 第41回日本周産期・新生児医学会
金山尚裕 第23回日本受精着床学会
金山尚裕 JSAWI2005

金山尚裕 第46回日本母性衛生学会
金山尚裕 AOCOG 2005
金山尚裕 第26回日本妊娠高血圧学会
西口富三 第110回日本産科婦人科学会関東連合地方部会
杉村 基 第110回日本産科婦人科学会関東連合地方部会
金山尚裕 第23回絨毛性疾患研究会
金山尚裕 第12回静岡ウィルス感染症研究会
杉村 基 第28回日本血栓止血学会
金山尚裕 第5回東海不妊内分泌研究会
金山尚裕 第5回西部婦人科腫瘍化学療法学術講演会
金山尚裕 第4回静岡手術侵襲研究会
西口富三 平成17年度春季地方部会
西口富三 平成17年度秋季地方部会
西口富三 母性衛生学会静岡県地方部会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

金山尚裕 日本産婦人科学会代議員
金山尚裕 日本胎盤学会理事
金山尚裕 日本妊娠高血圧学会理事
金山尚裕 日本産婦人科学会関東連合地方部会理事
金山尚裕 日本栄養代謝学会理事
金山尚裕 日本結合組織学会評議員
金山尚裕 日本新生児学会評議員
金山尚裕 日本母性衛生学会評議員
金山尚裕 日本産婦人科新生児血液学会評議員
金山尚裕 日本周産期学会幹事
金山尚裕 日本産婦人科ME学会常任幹事
金山尚裕 日本結合組織学会評議員
金山尚裕 中部不妊学会評議員
金山尚裕 静岡県ウィルス研究会幹事
金山尚裕 静岡県母性衛生学会常任理事
金山尚裕 日本産婦人科医会静岡県支部理事
杉村 基 日本産婦人科学会代議員
西口富三 日本産婦人科新生児血液学会評議員
西口富三 日本産婦人科医会静岡県支部理事
西口富三 静岡県母性衛生学会学術担当常任理事
西口富三 日本産婦人科学会代議員
西口富三 浜松市産婦人科医会常任理事

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	1件

(2) 外国の学術雑誌の編集

金山尚裕 Croatian Medical Journal Editorial Board Member

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

Journal of Obstetrics and Gynecological Research（日本）2回

西口富三 Gynecological Research（日本）1回

杉村 基 Gynecological Research（日本）1回

9 共同研究の実施状況

	平成17年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	5件
(3) 学内共同研究	3件

(2) 国内共同研究

金山尚裕 子宮筋の非侵襲的酸素動態モニタリングの開発（昭和大学，浜松ホトニクス）

金山尚裕 抗炎症作用を持つ体腔洗浄液の開発（浜松ホトニクス）

金山尚裕 コンピュータシミュレーションによる難産診断装置の開発（川崎医療短大）

金山尚裕 表面酸素濃度測定装置の開発 浜松ホトニクス（浜松ホトニクス）

金山尚裕 ウリナスタチンによる早産防止の検討（東京早産研究会）

(3) 学内共同研究

金山尚裕 胎盤の臭覚受容体に関する研究（解剖学教室）

金山尚裕 血小板活性化の可視化に関する研究（第2生理学教室）

金山尚裕 レーザー光によるIUGR胎仔の作成（薬理学教室）

10 産学共同研究

	平成17年度
産学共同研究	6件

1. 金山尚裕 子宮筋の非侵襲的酸素動態モニタリングの開発（浜松ホトニクス）

2. 金山尚裕 表面酸素濃度測定装置の開発 浜松ホトニクス（金山尚裕）

3. 金山尚裕 人工羊水香気の開発 曾田香料（金山尚裕）

4. 金山尚裕 精子の活性化を起こす栄養補助食品の開発 イーエイチアイ株式会社（金山尚裕）

5. 大井豪一 ゼリア新薬工業(株)Z-100第Ⅲ相比較臨床試験 — 子宮頸癌患者を対象としたプラセボ対

照比較臨床試験 —

6. 竹内欽哉 持田製薬(株)子宮内膜症における頸管粘液サイトカインの変動

11 受賞

- (3) 国内での受賞

河村隆一 第13回日本胎盤学会奨励賞受賞 2005, 10

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 光学的手法を用いた胎盤の酸素動態を測定するための機器の開発

胎児の非侵襲的生化学的モニタリング法を開発を行なっている。胎盤の酸素動態を直接あるいは間接的に監視できる機器の開発に成功した。これを用いて臨床的有用性を検討した。平成17年度より多施設共同研究を開始した。

(金山尚裕)

2. 新規光増感剤亜鉛コプロポルフィリンの開発 (COEプロジェクト)

平成14年より本学で採用されたCOEのプロジェクトメンバーとして子宮頸癌の新規光増感剤作成のプロジェクトチームを立ち上げた。副作用の少ない光増感剤を胎児由来物質から探求するのが目的である。その中から亜鉛コプロポルフィリンが胎児由来な有望な光増感剤であることを見だし特許を提出した。

(金山尚裕)

3. 光増感剤の局所投与キットの開発

現在子宮頸癌の光線力学治療に使用されているフォトフィリンは光過敏性物質であるため、治療後約4週間の入院が必要であった。我々は局所投与で静脈投与と同程度の効果を発揮するキットを開発した。これを用いると入院期間が大幅に短縮されることが考えられる。今後臨床応用を行う予定である。

(金山尚裕)

4. 静脈血栓症の血液凝固学的予知マーカーは従来よいものは存在しなかった。我々はプロテインCの感受性を測定する簡易方法を開発した。これを用いて妊婦の深部静脈血栓症、肺血栓塞栓症の予知が可能になる。

(金山尚裕)

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

1. 光増感剤の局所投与キットの開発 入院期間を大幅に短縮し、臨床的に有用な成果である。
2. 血栓症の予知キットの開発 血栓症のリスクを精度良く検出できるものである。

15 新聞，雑誌等による報道

1. 「女性の健康・美容と女性ホルモン」静岡新聞 2005年1月20日 金山尚裕